

## 施工前の注意事項

- ・施工前に安全上の注意をよくお読みのうえ、正しく取付けてください。
- ・注意事項は安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- ・施工後は正常に動作することを確認してください。



……「注意」この指示を無視して誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があります。



……このマークは、「接触禁止」の内容です。



……このマークは、してはいけない「禁止」の内容です。



……このマークは、必ず実行していただく「強制」の内容です。



……このマークは、「分解禁止」の内容です。

### ⚠ 取付に関する注意

	施工・交換・移設は、必ず専門の配管工事業者に依頼してください。誤った施工は、落下・漏水・壁やカウンターの破損の原因となります。		この説明書に記載された項目以外は分解しないでください。破損や怪我、やけど、水漏れが発生するおそれがあります。
--	---	--	--

### ⚠ 使用に関する注意

	器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。器具が破損し、怪我をしたり、漏水発生のおそれがあります。		お湯をお使いになる際は必ず水側のハンドルから開栓してください。湯側から開栓すると高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
	首振り操作は出来ません。乱暴に扱うと、ゆるみが発生することがありますので、首振り操作はしないでください。		お湯を止める際は必ずハンドルを水側の状態に戻して閉めてください。次に使用する際、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
	吐水口、引き棒部分に直接水をかけないでください。キャビネット内へ水が浸入し、家財などを濡らすおそれがあります。		高温の湯をお使いの後は器具内に湯が残らないようにしばらく水を流してください。次に使用する際、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
	他の箇所と同時使用すると圧力の変動が起こり、お湯の温度が急変する事があり、やけどをするおそれがあります。		凍結が予想される場所で使用する際は、給水・給湯管の水抜き操作等を行い水栓内に水が残らないようにしてください。凍結破損で漏水するおそれがあります。
	化粧品(クレンジング剤、整髪料、ヘアカラー剤)などを水栓に付着させないでください。変色や破損のおそれがあります。		ハンドル操作はゆっくり行ってください。急な吐水、止水は配管からの漏水の原因になるおそれがあります。
	高温のお湯を使用の際は本体も高温になっておりますので、直接触れないでください。やけどをするおそれがあります。		ご使用時には必ずハンドルの位置を確認してから吐水してください。高温の湯が出てやけどのおそれがあります。

必要工具および現場手配品



プラスドライバー

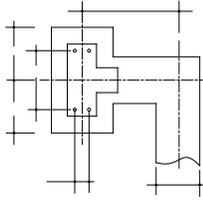
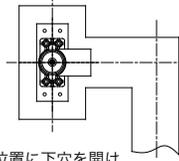
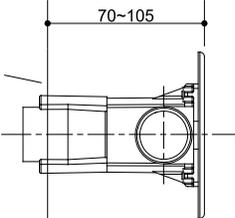
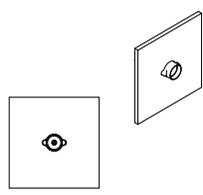
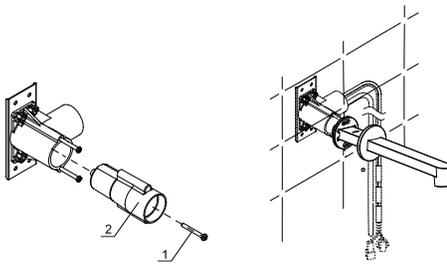
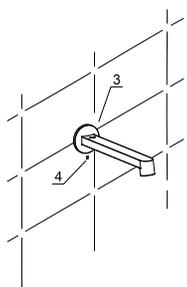
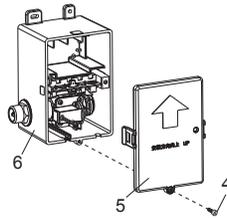
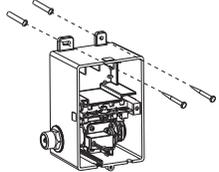
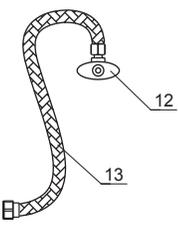
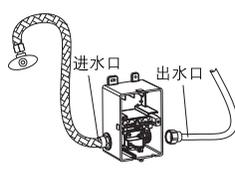
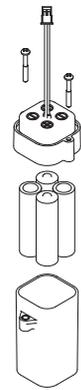
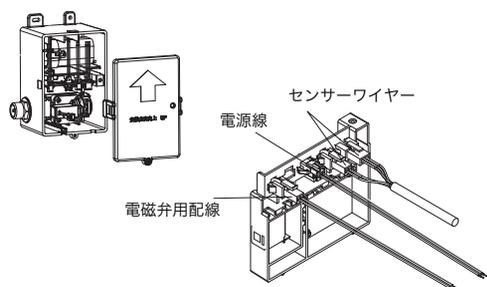
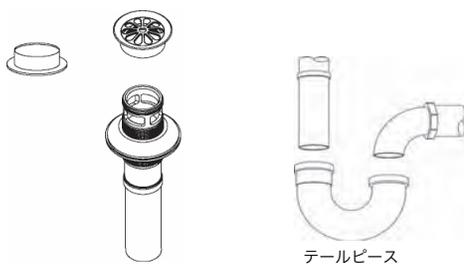
モンキーレンチ

ウエス

その他：  
カッターナイフ、メラミンスポンジ、プライヤー

トラップ  
Sトラップ  
Pトラップ

※国産のφ32のトラップが接続可能です。

<p><b>重要事項</b></p> <p>地域の配管および建築の規則をすべて遵守してください。</p> <p>給水を停止します。</p> <p>取付手順は木造フレーム構造への取り付けに関するものです。その他の取り付けの場合は、十分なサイズと強度の確認をしてください。</p>	<p><b>お知らせ</b></p> <p>説明で使用している図が、一部本製品の形状と異なります。下記の寸法図を参照して該当寸法をご確認ください。</p>	<p><b>1 墨出し</b></p> <p>取付位置に取付プレートの墨出しをしてください。洗面台と水栓の吐水口中心が揃うようにしてください。</p> 	<p><b>2 給水管の設置</b></p> <p>寸法図に従って設置位置を決定し、開口部を掘削して給水管を埋設します（この時点では通水しないでください）。開口の深さは約70～105mmとしてください。設置位置は、光源の直射または反射が感知窓に入らない場所を選んでください。</p>  <p>設置位置に下穴を開け、アンカープラグを挿入します。</p>	<p><b>3 取付プレートの設置</b></p> <p>取付プレートを開口部に挿入し、セルフタッピングねじで固定します。取付プレートの底部が壁面と平行であり、傾いていないことを確認してください。</p> 
<p><b>4 取付位置の加工</b></p> <p>取付位置がタイルの場合はタイルに穴を開けてください。</p> 	<p><b>5 水栓の取付</b></p> <p>セルフタッピングねじを外し、本体の仮部材を取り外します。エスカッションを前方に移動し、水栓本体と配線を取付プレートに通します。吐水口が洗面器方向を向いていることを確認してください。</p> 	<p><b>6 水栓の固定</b></p> <p>止めねじを使用して、エスカッションを固定します。</p> 	<p><b>5 電源ユニットの取付準備</b></p> <p>ドライバーを使用してバルブカバー固定ねじを緩め、バルブカバーを開けます。</p> 	
<p><b>6 排水金具の取付</b></p> <p>施工寸法に従って制御ボックスの設置位置を決定し、下穴を開け、樹脂製アンカーを挿入します。制御ボックスを壁面に当て、膨張ねじを使用して制御ユニットを固定します。制御ボックスが壁面と平行であることを確認してください。</p> 	<p><b>7 逆止弁の取付</b></p> <p>逆止弁を出口に接続し、ホースを逆止弁に接続します。ホースの先にバケツを置き、逆止弁を全開にして約1分間通水します。</p> 	<p><b>8 ホースの接続</b></p> <p>配管に漏れがないことを確認後、給水を止めてください。その後、水栓側ホースを制御弁に接続します。</p> 	<p><b>9 電池の取付</b></p> <p>電池ボックスのねじを緩め、単3形電池4本を極性表示に従って挿入します。電池カバーを確実に締め付けてください。※電池の極性を逆にしないでください。※新旧電池を混用しないでください。</p> 	
<p><b>10 バッテリーボックスの接続</b></p> <p>DC蛇口の対応する色のコードをすべて接続します。次に、バッテリーボックスをコントロールに挿入し、ドライバーを使用して取り付け方向に沿ってコントロールボックスのカバーを固定します。</p>  <p>センサーワイヤー 電源線 電磁弁用配線</p> <p>①はAC電源の差し込み口です。②は蛇口センサーの出口です。</p>	<p><b>6 排水の設置</b></p> <p>排水フランジを外し、フランジ裏面に配管用パテを一周塗布します。排水本体を洗面器の下側から挿入します。排水フランジを排水本体にねじ込み、下側からロックナットを手締めで固定します。余分なパテを取り除いてください。テールピースをトラップに接続します。</p>  <p>テールピース</p>			